

議会&活動報告書

ムダのない、かしこく活かのある柏原市を作りたい、めざすのはスマートシティ柏原



柏原市議会議員



柏原力UP↑

Vol.20
6年冬号

2度目のヘアドネーションをしました。



援を宜しくお願ひ申し上げます。
これからももちろん柏原市議会議員として市政に取り組みつつ、参政党の一員としても活動してまいりますので、今後とも引き続きのご指導、ご支

山口ゆか

@yamaguchi_yuka_

@yamaguchi_yuka_

f 山口ゆか

Livedoor blog 山口ゆか

yamaguchiyuka.com

info@yamaguchiyuka.com

072-926-5077

YouTube 「柏原市議会」

入党のごあいさつ

令和5年9月30日をもちまして、議員となり丸10年の月日が経ちました。ご支援いただきている皆さまのお力添えをいただきこれまで活動することが出来ました。心より感謝申し上げます。

そして、これまでどこの政党にも属さず、無所属で政治活動をしてまいりました。当初より政治団体「柏原力UPの会」を立ち上げ、議会報告会をはじめ、講演会や介護予防教室、また柏原市における課題を会で話し合ったり、議会で質問するための勉強会など取り組んでもらいました。しかし、市だけでは解決できない問題も多くあります。大阪府や国に問題提起をするルートを作っていくために、この度、一大決心をして政党に入党することにしました。目指すものが同じ方向にある「参政党」です。令和2年に結党し、令和4年の参議院選挙で176万票を獲得して一人の国会議員が、昨年春の統一地方選では100人を超える地方議員が誕生し、現在は140名ほどになりました。全国274支部があり、党の理念に共感して一般の方が中心となり、最前線に立つ駅頭チラシ配りや街頭演説など、自らの意志で活動しています。

LGBT理解増進法

12月
議会

YouTube



性的指向及びジェンダー・アイデンティティの多様性に関する国民の理解の増進に関する法律、いわゆる LGBT 理解増進法は、十分な議論をされることなく短期間に審査を終え、即日採決されるという極めて異例な経過をたどり、昨年6月に国会で可決されました。

法整備がされる前から、柏原市では「柏原市人権行政基本方針・推進プラン」において新たに性的マイノリティの取組が明記されており、相談体制の充実をはかり、講習会などでは当事者と対話ができる参加型での実施に取り組み、コミュニティスペース「フローラルつながり交流カフェ」を実施するなど、差別や偏見の解消に向け、相談支援や啓発に努めてきていると答弁がありました。

学校教育での取組について質問すると、生徒指導提要などを活用して道徳や特別活動において人権教育に取り組み、名簿や並び方など男女別の指導は行わず、人権、多様性を尊重する教育を進めている。また、LGBT 等の問題を抱える子どもがいる場合、子どもの気持ちに寄り添う支援体制を整え配慮を行っており、近年は男女共通の制服に変更する動きもあったり、相談しやすい環境づくりを行っているという答弁がありました。

本当にこの法律は必要だったのでしょうか。女装をした男性が、女風呂に侵入して現行犯逮捕される事案が増えています。「心が女なので、なぜ女子風呂に入っていけないのか全く理解できない」と供述しており、各現場では混乱を生んでしまっています。

女性スペースを守るために団体が立ち上がり、トイレや浴場など、女性の立場が侵害されず安心して利用できるよう、国に対して女性の権利保護や「性自認」に対し慎重な議論を求めています。

海外では、未成年のジェンダー医療の問題があります。10代であっても望めば、乳房切除など性転換の手術を受けることができているそうです。やがて成長と共に手術した自分の身体に対して、逆に違和感を覚え、後悔をしている人たちが多く、社会問題となっています。幼児から性教育を始め、行き過ぎた面も見受けられます。海外の影響を受けてか、**包括的性教育**が必要だという主張もあり、こういった動きが日本でも浸透するのではないかと大変危惧しています。

山口ゆかコラム ~インターナショナルとグローバル

【インターナショナル】は、各国が自国の歴史や文化を基盤に意思決定を行い、国と国が相互に尊重し合う国際関係を目指すものといえます。【グローバル】は、地球規模での意思決定を目指し、世界統一のルールの中でやしていく。各国の歴史や文化は関係なく国境をなくし、1つ

不登校問題

12月
議会

YouTube



小・中学校の不登校の数がコロナ以降急激に増えており、過去最多の30万人になり、柏原市でも増加傾向にあります。

柏原市教育支援センターでは不登校児童生徒が通うことができ、学校とも連携し、学力保障を行い、家庭訪問など不登校対策に取り組んでいます。また、通級指導教室を活用して学習に取り組んでいる学校もあるそうです。不登校の原因は人間関係や愛着障害から派生するものなどそれぞれ違います。不登校は二次的な行動です。心理的圧迫を受けている一次的な根本原因に気付き、早い段階でアプローチをして不安を取り除けるよう要望しました。

学校給食の課題

12月
議会

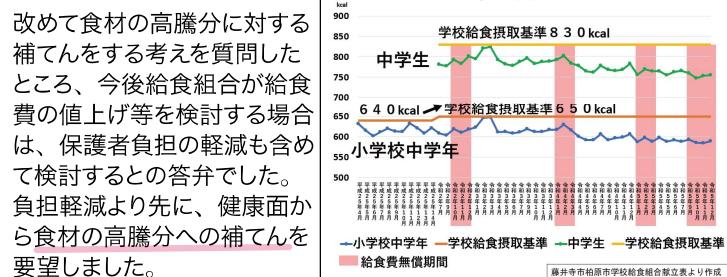
YouTube



学校給食の献立は、給食センターの栄養士等が文部科学省で定められた学校給食摂取基準の栄養量を元に作成しています。

令和4年9月議会で、食材の物価高騰についてどうしているか質問し、前年度に入札を行い年間契約をしているため影響が抑えられているということでしたが、今年度も同じ答弁でした。

これまで、柏原市では4回の給食費無償化事業を実施してきました。地方創生臨時交付金を活用して食材の物価高騰分に補てんするではなく、公立小中学生のいる家庭の家計の負担軽減にあてています。献立表に平均栄養量が掲載されており、グラフにしてみました。特に中学生にいたっては、明らかに物価高騰のあおりを受けていることがわかります。



の地球を目指していく世界観といえます。

WHO(国際保健機関)がパンデミック条約および国際保健規則(IHR)の改定をして、加盟国に対してパンデミックなどが起きた時に事務局長の判断で行われる勧告に法的拘束力を持たせようというものです。

ワクチンも強制される恐れがあります。各国の国家主権と民主主義を一組織が統制し、人々の自由を制限することに私は賛同できません。

今こそ事業者支援を



令和4年度の市民税収入が増えています。個人事業者の時短営業協力金による営業所得、株価回復による株式譲渡所得、また一部企業の業績の好調など個人・法人共に市民税が増加しました。しかし令和5年度では、給与所得は増えていますが、時短協力金の減少などによる営業所得、株価低迷による株式譲渡所得、市内企業の申告税額が減少しており、全体的には減収となる見込みです。

コロナの打撃で業績がまだ回復していないにもかかわらず、コロナ禍に一定期間無利子、無担保で融資を受けられる「ゼロゼロ融資」の返済が始まっています。そこで、市内事業者への支援について質問したところ、今年は2回のキャッシュレスポイント還元事業で消費喚起に取り組んでいる、商工会の事業に対して積極的に協働・参画に努めていくとのことでした。

キャッシュレスポイント還元事業ではスーパーなどで在庫がなくなるほど売り上げがあったそうなので、それ以外のところへの支援策として、例えばお店や工場などに直接支援をしたり、商店街への支援の強化、「コロナ借換保障」の後押しとなる支援などをしていただき、事業者の頑張りで、今後の安定した市税収入につながるようにするなど、事業者に対する支援を要望しました。

講演会 大規模ソーラーパネル ～未来への責任～

11月12日に柏原力UPの会で講演会を開催しました。山口県岩国市から石本崇議員、熊本県から高井ちとせ議員、東京都新宿区から青木議員、それぞれの立場から再生可能エネルギーである太陽光発電や風力発電による環境への影響、東京の義務化された条例などお話をいただきました。

私からは、令和4年6月議会で太陽光発電施設に対する条例を制定する考えについて質問した内容などを伝えました。

自衛隊や米国基地に近い場所や水源地など日本の領土が外国人に買われて水をごそり使用されている状況があります。

こういった話を聞くにつけて日本はどうなっていくのか不安しかありません。今回、集まっていた議員の皆さんには日本の政治に危機感を持っています。党派を超えて問題に取り組むことが大変重要で、今回の講演会はその役割を果たすことができたのではないかと思います。

「地方議員は幕末の下級武士だ」と石本さんが仰るように、問題意識を持つ下級武士たちが立ち上がる時です。議員だけではなく、問題に気付いた一般の方も下級武士です。政治を変えるのは大衆の叫びが必要です。みんなで声を上げていきましょう。

市政報告

・大和川の河川空間オープン化の指定

11月1日に近畿地方整備局から「都市・地域再生等利用区域」の指定を受けました。令和3年から、河川区域で社会実験として各種イベントが実施されてきましたが、指定を受けることにより、大和川河川敷内で民間事業者による収益事業が行えるようになります。河川敷を有効活用し、にぎわいの創出につながるよう期待します。

市制65周年 かしわら花火

美しい花火が、夜空を彩りました。



市議会議員3期目 参政党

堅下小学校、堅下北中学校卒業
ひとり親で子育てをしてきました。

住まいは上市3丁目で事務所は法善寺にあります。
市議会では会派に属さず。



山口ゆか プロフィール



こども施策

子どもの数が減少している一方で、こども園や保育所、放課後児童会の保育ニーズは増加しています。



放課後児童会の課題

国の基準に基づき1クラス2名の指導員を配置していますが、最近は支援が必要な児童も増えており、指導員の配置の見直しと人材確保が急務であると考え、質問しました。

指導員の負担が大きくなっている状況は把握しており、一時的に増員配置を行うなど対応しているが、今後の体制を検討する必要があると認識しているため、人材確保に努めていくと答弁がありました。国の「子ども未来戦略方針」で常勤職員配置の改善などを図ると明記されているため、安全な保育環境の改善と整備を要望するとともに、他市より指導員が集まりにくい状況を変えるため待遇改善の検討也要望しました。

働く保護者を支えるため

保育受け入れの確保を

低年齢児の入所枠を新たに確保するとともに、令和2年度から保育士の待遇改善をして保育士確保に努めているとのことでしたが、現在の保育受入数では足りないと考え、新たなハード面の整備について質問しました。

出生数の減少が続いている、保育ニーズの増加と就学前児童数の減少のバランスを見極め、「子ども・子育て支援事業計画」策定にあたりニーズ調査を実施して今後の保育の供給量を適切に定めていくとの答弁がありました。

幼稚園跡地の活用や小規模保育の誘致などの方策に取り組んでいただくよう要望しました。



・市道上市法善寺線 第二期 地元説明会

11月22日、25日に地権者、物件所有者、地元住民を対象に事業認可取得に関する説明会が開催されました。整備予定地区は、オガタ通り商店街交差点部分から柏原東小学校前交差点部分までです。令和6年3月頃に事業認可を取得予定としており、5月頃に事業概要についての説明会を開催予定されています。

学校の通学路にあたるところで、現状は歩道がなく大変危険な状況です。以前から要望していましたが、ようやく事業認可取得に向け、前に進みました。

後援会会員を募集しています ウェブサイト・電話・FAX・メールで随時受付中!
一緒に政策を考える「柏原力UPの会」の会員を募集しています

山口由華後援会

Webサイト
<http://yamaguchiyuka.com>

〒582-0005 柏原市法善寺2-3-23
tel. 072-921-7430 fax. 072-926-5077

Eメール
info@yamaguchiyuka.com

発行・編集 山口ゆか事務所 〒582-0007 柏原市上市3丁目 10-30 TEL 072-921-7430 討議資料

